

「オンリーワン徳島」新行動計画

行 動 計 画 編」

基本目標（概要案）」

徳 島 県

基本目標 1 「オープンとくしま」の実現

●基本目標のコンセプト

～時代の変化に速やかに対応できる公正、公平な開かれた県政運営が進むとともに、県民との共感・協働による創造性豊かで個性や活力あふれる地域づくりが進んでいる「オープンとくしま」の実現を目指します～

●基本目標の内容

郵政民営化や国立大学等の独立行政法人化、国と地方の税財政改革、市町村合併や道州制の導入検討、国の関与の縮小と地方の権限と責任の拡大など、官から民へ、国から地方へ、20世紀型の社会経済システムが21世紀型へと大きく変化し、分権型社会システムへの一大変革（パラダイムシフト）が進む中、これまでの地方行財政制度の枠組みも大きく変わろうとしています。

こうした時代潮流を的確に把握するだけでなく先取りし、新たな時代を積極果敢に切り開いていくためには、厳しい財政事情や経済・雇用、環境などの諸課題に的確に対応し、住民が満足し、納得し、信頼する効率的、効果的な行財政経営が求められています。

このため、職員の意識改革を促し、これまでと全く陥りがちだった行政主導の発想や行動原則を、もう一度県民の目線に立って見つめ直すとともに、成果や現場を一層重視し、限られた行財政資源の戦略的・効率的な配分を行うことが必要です。

また、県民一人ひとり、NPO法人、ボランティア、地域の団体、高等教育機関、企業、市町村、県など多様な主体が共感し、役割分担しながら、連携・協力して地域の経営を行っていく新しい時代の「公」のあり方が求められています。

このため、行政と県民の信頼関係を基盤として、「県民が主役」となって、地域を創造していくことに重点をおいた官民協働の県政を推進することにより、都市部をはじめ中山間地域などの農山漁村も活力ある地域自立型の社会システムを構築することも必要です。

そこで、人件費等の義務的経費の縮減、さらには財源不足額の圧縮等による持続可能な行財政基盤を確立するとともに、「真の地方分権社会」へ時代を切り開く公正で公平な開かれた県政運営を目指します。

基本目標 2 「経済飛躍とくしま」の実現

●基本目標のコンセプト

～地域の特性を活かした時代を先取る産業が生まれるとともに、地域産業のブランド化が進むなど、県内経済がより生き生きと元気になり、県民の誰もが意欲と能力に応じ自分の希望にあわせて働くことができる「経済飛躍とくしま」の実現を目指します～

●基本目標の内容

国と地方の経済を取り巻く環境を見ると、少子高齢化、人口減少、財政赤字、エネルギー・環境問題、グローバル化など、多くの課題が山積しています。

こうした厳しい社会環境の中においても、徳島県では、県内経済の活性化に取り組んでいますが、今後は、本県経済が、新たな成長を遂げ、持続的発展から飛躍につなげるための進化した施策の展開が必要です。

本県の雇用情勢は、景気の緩やかな回復基調を受け、改善傾向にあるものの、依然として、若年者や中高年齢者は厳しい状況が続いていることから、今後とも、雇用の促進と安定に向け、一層の就業支援が必要となっています。

また、基幹産業の一つである農林水産業については、恵まれた自然環境のもと、新鮮食料供給地として県内外の消費者の信頼を確保するとともに、増大する輸入農林水産物に負けない力強い産地を育成し、品質と供給力の向上を図ることが必要です。

このため、本県の特性、ポテンシャル（潜在能力）を活かした21世紀の光源であるLEDを利用する光（照明）産業の集積促進を図る「LEDバレイ構想」の推進、農工連携事業をはじめとした様々な分野における異業種融合など時代を先取る施策や、県産農林水産物の価値を高める生産から消費までの一体的な戦略を展開するなど、全国からも注目される新たな産業集積や地域産業のブランド化が進展し、活力と元気にあふれる本県経済を目指します。

また、社会や企業の活力を維持しつつ、労働者が性別や年齢等にかかわらず持つ能力や個性を発揮でき、家庭、地域、職場の中で生き生きと暮らし働くことができる社会の実現を目指します。

基本目標 3 「環境首都とくしま」の実現

●基本目標のコンセプト

～豊かな自然を活かしたうるおいのある生活環境づくりが進むとともに、地球温暖化対策をはじめ、地球規模の環境問題への先進的な取り組みが全国から注目される「環境首都とくしま」の実現を目指します～

●基本目標の内容

徳島県の貴重な財産である海、山、川をはじめ、森林や多種多様な野生生物など、豊かな自然や生活環境を適切に保全、活用しながら、将来の世代に引き継いでいくことが私たちに課せられた大きな責務です。

また、県民一人ひとりが、高い環境意識を持って行動するとともに、県民、事業者、行政等が連携した取組を進め、「環境の保全・創造」と「社会・経済の発展」を一体的に実現する持続可能な社会づくりを行うことが必要です。

このため、全ての県民が「環境にやさしい暮らし」を心がけ、廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用の促進による限りある資源が循環する社会づくりを進めることが重要です。

また、豊かで貴重な自然の保護・保全、自然環境に配慮した美しい景観づくりや戦略的な生活排水処理対策によるきれいな水環境の保全に向けた様々な取り組みを進めるとともに、健康で安全、快適な生活をおくることのできる良好な生活環境の保全に積極的に取り組むことが必要です。

さらに、地球温暖化の防止をはじめとする地球規模の環境問題に関し、県民運動としての省エネルギー活動の展開、また、太陽光発電や風力発電、バイオマスエネルギーなどの新エネルギーの導入を進めるとともに、県土の75%を占める森林の間伐による針葉樹と広葉樹の混交林化など多様な森林づくりに取り組む必要があります。

そこで、「環境首都とくしま憲章」のもと、本県の豊かな自然環境や地域の特性を活かした工夫のある取り組みを県民を挙げて積極的に推進し、全国からも「環境保全・創造のモデル」として注目をされる、「世界に誇れる環境首都づくり」を目指します。

基本目標 4 「安全・安心とくしま」の実現

●基本目標のコンセプト

～南海地震などの自然災害による被害の防止を図るためのまちづくり・人づくりなどを進めるとともに、感染症対策や、消費者被害、街頭犯罪など事件・事故への対策を進め、誰もが安心して暮らせる「安全・安心とくしま」の実現を目指します～

●基本目標の内容

今後30年以内に50%の確率で発生が予測されている南海地震をはじめ、最近の異常気象にともなう水害や土砂災害などの自然災害に対する不安、BSE（牛海綿状脳症）や不当表示などによる「食」の安全に対する不安、SARS（重症急性呼吸器症候群）等の新たな感染症の出現（発生）、新型インフルエンザ発生への不安、アスベスト問題のように将来にわたり対応することが必要な人の命に関わる問題、さらには犯罪の増加など、私たちの生命・暮らしは様々な不安要素に取り囲まれています。

すべての県民が夢や希望にあふれ、一生を通して、幸せな生活を送るためには、安全で安心できる生活環境を整備するとともに、一人でも多くの県民が積極的に主体的な役割を果たすことが重要です。

このため、危機管理の視点を踏まえ、「南海地震発生時の死者ゼロ」を目指した県民の生命と財産の保護を第一とする南海地震対策をはじめ、災害予防として堤防や排水機場等の施設の整備・強化を進めます。

さらに、県民の防災行動指針「とくしま地震防災県民憲章」に基づく県民運動の展開、自主防災活動による県民一人ひとりの防災意識の向上や地域防災力の強化を図るとともに、災害が発生した場合に備え実践的な危機管理体制づくりを進めます。

また、安全・安心な食料の提供や安心して信頼される質の高い医療の確保、消費者の安全・安心の確保と自立支援、県民一人ひとりが健やかで心豊かに生活できる健康づくり対策、県民が良好な治安を体感できるための犯罪対策・交通安全対策を行うなど、すべての県民が安全で、安心を実感して暮らせる社会づくりを目指します。

基本目標 5 「すだちの国とくしま」の実現

●基本目標のコンセプト

～安心して子どもを生み育てられる環境や、子どもから高齢者まで多様なライフステージで個性や能力を伸ばすことができる学習環境が充実するなど、「はばたく力」のあふれる人が育つ元気な「すだちの国とくしま」の実現を目指します～

●基本目標の内容

高度情報化、国際化、少子・高齢化の進展や経済の成熟化など、21世紀における急激な社会変化に伴い人々の価値観も多様化が進む一方で、「うるおいとやすらぎ」や「人と人とのつながり」など、真に心の豊かさが求められるようになってきています。こうした中、夢や希望の持てる活力あふれた「とくしまづくり」を進めるにあたっては、自らが進んで地域社会に参画し、誇りを持って地域社会を支えるとともに、世界も視野に入れながら責任を持って行動できる「とくしまの人」づくりが重要です。

このため、将来を担う子ども、若者が、夢を持ち未来に羽ばたいていけるよう、「地域に愛され、地域に信頼される」学校づくりをはじめとして、個性が尊重され、社会の一員として健全に育成される教育環境づくりが必要です。

また、子どもから高齢者まであらゆる世代がそれぞれのニーズに応じて学習できる環境づくりとともに、仕事中心の生活から子育てを大切にする「ワーク・ライフ・バランスのとれたライフスタイル」への転換を促進するなど、子育てに夢や希望があふれる環境づくりも必要です。

そこで、児童の個性や能力を伸ばす少人数学級の推進や中高一貫教育の推進をはじめ、スクールカウンセラーなどによる児童生徒の様々な悩みに対する支援体制の充実など、多様な教育ニーズに対応し、子どもたちが「心豊かで、たくましく」成長できる環境づくりを進めます。

また、子どもから高齢者までそれぞれのライフステージで個性や能力を伸ばすことができる学習環境を充実させるとともに、子育て家庭の経済的負担の軽減などにより、安心して子どもたちを大切に育み、子育ての喜びが分かち合える環境づくりを進めます。

こうした取り組みにより、県民一人ひとりが地域活動に主体的に参画し、「はばたく力」があふれる「とくしまの人」を育む元気な社会づくりを目指します。

基本目標 6 「みんなが主役とくしま」の実現

●基本目標のコンセプト

～互いの人権を尊重し、性別や年齢、障害の有無等に関わりなく個性と能力を十分に発揮できる社会づくりが進むなど、誰もが主体性を持って豊かに生活することができる「みんなが主役とくしま」の実現を目指します～

●基本目標の内容

社会の豊かさの意味が問い直され、少子・高齢化、人口減少、国際化が進行する今、ともすれば地域の活力が低下しがちであることから、地域のすべての人がお互いの個性や違いを理解し、一人ひとりの人権を尊重し合う中で主体的に社会に参画し、地域力を高めることが求められているとともに、地域に暮らすみんなが快適に生活できる、住みやすいまちづくりが求められています。

さらに、人々の価値観・生活様式の多様化が進む中、人間性の回復に向けて、真に豊かな生活の実現が求められています。

このため、一人ひとりが互いの人権を尊重しつつ、家庭・地域生活や職業生活において、共に支え合い、協力しながら社会の中で個性と能力が発揮できる環境づくりや、本格的な高齢社会においても、すべての県民が安心して高齢期を迎えられ、生涯にわたり健康で生きがいを持って暮らせる環境づくり、障害者が元気で自立し、自由に社会参加できるとともに、地域の担い手として活躍できるような環境づくり、高齢者や障害者はもとより、生まれたところや国籍に関わりなく地域に暮らすみんなが住み慣れた地域の中で、ともに支え合いながら暮らしていける、こころの通い合う安らぎと共生の地域づくりを進めることが重要です。

さらには、その基盤として「すべての人が利用しやすいように、あらかじめ」というユニバーサルデザインの考え方に基づいたまちづくりを推進することも重要です。

こうした取り組みによって、性別、年齢などを問わず地域に暮らすすべての人々が、主体性を持って参画し、はつらつと生活できる、みんなが主役となる社会づくりを目指します。

基本目標 7 「にぎわいとくしま」の実現

●基本目標のコンセプト

～県内の様々な地域で誰もがスポーツや芸術文化を楽しんでいるとともに、交通ネットワークの整備が進み全国からの観光客で活気あふれている「にぎわいとくしま」の実現を目指します～

●基本目標の内容

過疎化や高齢化の進行に伴い地域の活力の向上が課題となる中、徳島県には、美しい景観や温暖な気候など、心をいやしてくれる自然が豊富にあり、また、「お接待のこころ」に代表される「こころの豊かさ」が満ちあふれています。

このような自然・産業・文化・人材等の資源を有効に活用するなど、知恵と工夫により個性や潜在能力を発揮し、その活力を回復・増大させることにより、人・物・情報の交流がより活発になり、県内どこもが活気あふれ、にぎわう地域づくりを実現することが求められています。

このため、近畿に対する四国の玄関口という徳島県の地理的優位性を活かし、近畿と四国を結ぶ交流の拠点となる利便性の高い交通体系の整備や、すべての県民が道路・鉄道に続く第三の社会資本といわれているＩＣＴを十分に活用できる環境づくりとともに大規模イベントの開催、特徴ある観光地づくりなどの交流を活発化させる取り組みが重要です。

また、芸術文化に触れることを通じ、豊かな感性を養うとともに、私たちが受け継いできた貴重な財産である阿波の文化を再認識し、新しい文化を創造する取り組みも求められています。

さらに、あらゆる世代がＪリーグなどプロスポーツのレベルの高い競技を楽しむとともに、日常生活の中で、「いつでも、どこでも、誰でも」がスポーツに親しみ、楽しめるスポーツ文化を育み、県民一人ひとりが、それぞれの興味や関心、年齢、目的、体力に応じてスポーツに親しむことができる環境づくりも求められています。

このような取り組みを進め、県内どこもが活気あふれ、にぎわう、地域づくりを目指します。